

## 直方市学校規模適正化実行計画策定支援業務委託プロポーザル審査基準

### I. 審査基準

事前に提出される参加意思表明書等の書類審査を一次審査として、別表1に基づいて審査を行う。

一次審査通過者については、プレゼンテーションによる審査を二次審査として、別表2に基づいて行い、二次審査の合計点数により業務の委託予定事業者を決定する。

「別表2 評価項目 企画提案」については、「(別紙) 企画提案テーマについて」を参考にすること。

### II. 評価基準・点数

審査のための評価基準及び点数は別表1～2の、各配点比率に5段階で評価した点数を乗じたものとする。

### III. 最低基準

総合点(各委員の評価の合計点)の60%を最低基準点とする。審査の結果、最低基準に満たない場合は選定しないこととする。

**別表1 一次審査(書類審査)**

審査項目	評価項目	配点比率	評価	配点
会社概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の規模等から、契約期間において安定した業務の実施が可能であるか。</li> <li>・従業員数の規模等から、本業務に十分な人材の確保が可能であるか。</li> <li>・その他特筆すべき事項があるか。</li> </ul>	2	5・4・3・ 2・1	10
業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同種業務の実績・経験は十分なものか。</li> <li>・本業務に類似した内容の実績があるか。</li> <li>・データ分析、施設マネジメントに関する専門性が確認できるか。</li> <li>・その他特筆すべき事項があるか。</li> </ul>	4	5・4・3・ 2・1	20
業務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務に必要な専門分野(教育、建築、財政、データ分析等)を網羅した体制になっているか。</li> <li>・教育委員会や学校現場との調整方針が示されているか。</li> <li>・その他特筆すべき事項があるか。</li> </ul>	4	5・4・3・ 2・1	20
合 計				50

**【評価】** 5 特に良い、4 良い、3 普通、2 やや劣る、1 劣る

**別表2 二次審査(プレゼンテーション審査)**

審査項目	評価項目	配点比率	評価	配点
業務への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務への理解があるか。</li> <li>・業務遂行の役割分担が明確で、責任体制が整理されているか。</li> <li>・業務遂行に十分な人材確保が可能であるか。</li> <li>・同種業務の実績、経験、専門性を備えているか</li> <li>・本業務の全体スケジュールが分かるように示されているか</li> </ul>	2	5・4・ 3・2・1	10
業務内容(1) の内容	<p>企画提案は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説書に沿った調査内容となっているか。</li> <li>・必要な資格、経験を持った人員の配置があるか。</li> <li>・学校現場の事情を考慮したスケジュール管理やリスク対応策が明確か。</li> <li>・付属エクセルソフトの内容及び作成過程は適切か。</li> </ul>	3	5・4・ 3・2・1	15
	<p>独自提案は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の調査（「整備レベルの把握」「改修履歴の把握」）を実施するか。</li> <li>・本市の課題解決のために有効なものであるか。</li> <li>・提案上限額の範囲内で実施可能なものか</li> </ul>	2	5・4・ 3・2・1	10
業務内容(2) の内容	<p>企画提案は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数予測の手法は適切か、信頼性はあるか。</li> <li>・基本計画等を踏まえた提案か。</li> <li>・単なるコスト分析にとどまらず、実行計画策定に資する提案か。</li> <li>・助言が行える専門的な視点や体制があるか。</li> </ul>	4	5・4・ 3・2・1	20
業務内容(3) の内容	<p>企画提案は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「改築」「長寿命化」の判断が適切に行える提案か。</li> <li>・老朽化対策において、実行性のある優先順位付けに資する提案か。</li> <li>・老朽化対策のコスト算定条件は合理的か。</li> <li>・具体的な整備計画となっているか。</li> <li>・財政健全化や教育環境改善に資する視点からの助言ができる体制があるか。</li> </ul>	4	5・4・ 3・2・1	20

業務内容 (2) (3) の内容	独自提案は適切か ・本市の課題解決のために有効なものであるか。 ・提案上限額の範囲内で実施可能なものか。	2	5・4・ 3・2・1	10
見積提案額（別表3）				15
合 計				100

【評価】 5 特に良い、4 良い、3 普通、2 やや劣る、1 劣る

### 別表3

得点 = 15 点 × (見積上限額 (13,178 千円) - 提案額) ÷ (見積上限額 (13,178 千円) - 最低提案額)

※小数点以下第 1 位を四捨五入

※見積提案額が、提案上限額と同額の場合は、得点が 0 点となることに注意すること。

【計算例】 見積上限額（税抜き）10,000,000円の場合

区分	提案額	配点 ×	(見積上限額 - 当該提案額) ÷	(見積上限額 - 最低提案額) =	得点	得点 (四捨五入)
A	10,000,000	15 ×	0 ÷	500,000 =	0	⇒ 0
B	9,850,000	15 ×	150,000 ÷	500,000 =	4.5	⇒ 5
C_最低額	9,500,000	15 ×	500,000 ÷	500,000 =	15	⇒ 15